

# 全国学力・学習状況調査について

No.4 4月20日(水)「全国学力・学習状況調査」について

昨日、全国学力・学習状況調査が実施されました。対象は、中学3年生です。(小学校では6年生)

調査の意図は、さらなる授業改善のために生徒の課題を明らかにするため、本年度は、国語、数学、理科が実施されました。

かつては、「暗記」「知識・理解」重視でしたが、現在は「活用力」が重視されています。大学入試もそのような傾向となっており、全国学力・学習状況調査の問題もその傾向が強くなっています。

「活用力」を培うため、授業の在り方も以前に比べると変わってきています。見ようによっては、生徒が好きにおしゃべりをしているような感じを受ける授業もあるかもしれませんが、実は、自分の考えを基に話し合う活動を、どの授業でも取り入れるようになっているのです。(協働的な学び)

一方で、「活用力」は、基礎基本があることが前提ですので、並行してドリルアプリなどの補充学習で知識・理解を身に付けさせるようにしています。(個別最適な学び)

全国学力・学習状況調査で明らかになった本校の課題、傾向等は秋～冬ごろにお伝えします。